

1. ネイティブ・チェック

母国語が英語以外の著者の場合、投稿に際しては事前にネイティブ・チェックを行うこと。

2. 原稿の体裁と分量

- ・原稿はワープロなどを使用し、任意の A4 用紙を用い、別紙見本の指定に従い、完全版下原稿を作成する。
- ・本文に関しては、1 頁=46 行×2 段組で仕上げる。

3. 原稿の内容と構成

- ・本文の 1 頁目に、投稿区分、表題、著者名、要約（15 行以内）、キーワード（6 個以内）また同頁の脚注に著者の所属機関名を記載する。なお、職名は記載してはならない。また執筆者が複数の場合は第 1 執筆者に*、第 2 執筆者に**の記号を付ける。
- ・本文の最終頁には、補注、文献リストを記載する。
- ・行番号ならびに頁番号を記載する。

4. 本文

- ・本文は INTRODUCTION, METHODS, RESULTS, DISCUSSION (or RESULTS AND DISCUSSION), CONCLUSIONS に分け記述する。
- ・本文の見出しは、1., 1.1, 1), (1), a. という順序に統一させ、INTRODUCTION, CONCLUSIONS には数字をふらない。
- ・審査の公正を保持するため、論文本文中に著者が特定できるような表現は避ける。また、謝辞に関しても本文には記入せず、スペースのみを確保する（採用が決定した際にあらためて記入する）。

5. 図・表・写真

- ・図表は完全版下を当該位置にそのまま貼付すること。コンピュータを用いて作成した図表等は鮮明な原本に限る。
- ・タイトルについては、表は上・図と写真は下に、それぞれ連番をつけて入れる (Table 1, Figure 1, Picture 1 など)。
- ・図表・写真は、頁の天地に寄せて割り付ける。文章と文章の間に図表をはさまないこと。

6. 補注

- 補注を必要とする場合には 1), 2), ~n) の上付き記号で本文該当箇所の右肩に明示し、文献リストの前に一括掲載する。
- インターネット上の情報を引用する場合には補注として扱い、著者またはホームページ作成者・

運営者名・最新更新日・記事のタイトル, URL, 参照時の年月日を明記する。

例 : Ministry of the Environment (03/29/2004 updated) MOE PRTR data page.

<<http://www.prtr-Info.jp/prtrinfo/Index.htm>>, 10/25/2004 referred.

7. 文献

○本文中の文献引用は・著者の姓（まぎわらしいときには名を併用）、発表年を書く。

○文献リストに掲載する文献は、本文中に引用した文献に限る。著者名のアルファベット順に下記の記載形式にしたがって掲載する。同じ著者の同一年のものは、引用順に（1992a）などのように、a, b, c・・・・・・を付して並べる。

例 : Yamasaki (1986a)

Yamasaki and Maeda, T. (1993)

① 雑誌中の論文の場合

著者名（発表年） 論文名. 掲載雑誌名, 掲載巻号（巻がなく号だけのものはNo. 6のように書く）, 掲載頁最初～最後, (使用言語)

例 : Sugimura, K., Yamada, F. and Miyamoto, A. (2003) Population trend, habitat changes and conservation of the unique wildlife species on the Amami Island, Japan. *Global Environmental Research*, No.7, 79-89 , (in Japanese).

② 編纂図書あるいは論文集の中の論文の場合

著者名（発表年）論文名. “書名”（编者名）, 掲載頁最初～最後, 出版社名, 出版社所在地.

例 : Nicholas, V., Brokaw, L. and Lent, R.A. (1999) Vertical structure. In: Hunter, M. L., ed., “Maintaining Biodiversity in Forest Ecosystems”, 373-399, Cambridge University Press, Cambridge, UK.

③ 単行本の場合

著者名（発表年）書名. 出版社名, 出版社所在地, 総頁数.

例 : Takacs, D. (1996) *The Idea of Biodiversity: Philosophies of Paradise*. The Johns Hopkins University Press, Baltimore and London, 393pp.

【図表レイアウト例】

Table 1 *****






Figure 1 *****

.....

.....

Picture 1 *****



.....

.....

悪い例 ①文章の間にはさまっている。
②図表枠がもう一方の段まではみ出している。

.....

.....

.....


Figure 2 *****

.....

.....

.....

Table 2 *****



「Journal of Environmental Information Science」 論文の PDF ファイルを作成するにあたっての注意事項

「Journal of Environmental Information Science」の投稿にあたり、著者には論文を PDF ファイルにて提出いただくことになります。なお、PDF ファイルの作成については様々であるため、著者ご本人の責任において作成いただきますが、どのような方法であっても以下の点を必ず守ってくださいますようお願いいたします。

【作成ルール】

- 1. すべてのフォントを埋め込んでください**（文字化けを防ぐため：これをしないと、他の OS 等の環境下で正常に表示できなくなる場合があります。図表内の文字も同様です。また、基本フォントは 執筆見本にある通り MS ワード・MS ゴシック・Century を使用してください）
- 2. PDF に写真などの画像データが含まれている場合で、かつその一部を隠したり、文字を追加したりする必要がある場合は、画像そのものを加工するようにしてください**（ワープロソフトや PDF 作成ソフト等で、画像の上に図形やテキストボックスを重ねただけの図表は、PC 環境によってずれたり、取り外されてしまう危険性があります。）
- 3. 査読用原稿で著者名等をマスキングする場合は、該当箇所を残したまま図形等で隠さずに、該当箇所を削除し、スペースは空白で確保してください。**（PDF 上では図形の下の文字が認識できてしまうため）
- 4. パスワード等の全てのセキュリティ、外部リンクの設定をしないでください。**

* * * * *

【その他注意点】

- 図表等の画像解像度は、300dpi 程度を目安にしてください（解像度が高すぎる場合はネット閲覧時に支障がでる場合があります）。
- 機種依存文字（丸数字やローマ数字、単位記号などの特殊記号、 $\text{\textcircled{A}}$ などの全角の複合文字、半角カタカナなど）および JIS 第 2 水準を越える漢字をできる限り使用しないでください（抄録等の HTML 表示時に正常な表示ができなくなる場合があります）

参考資料：【J-STAGE 運用マニュアル PDF 作成指針】

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage_pdf_guideline.pdf